SOLIDO

typeM_FLAT

typeM_FLAT研磨

推 奨 施 工 法

2026年10月現在

ケイミュー株式会社

本資料のご使用に当たって

●本製品に保証はありません。

●模様、色むらに関する返品、交換はできませんので、
予めご了承ください。

●本資料は接着工法の一例を示した参考資料になります。
施工方法や納まりの詳細は、元請様や工事店様のご判断、
責任のもと、決定して頂きますようお願い致します。

〈施工事例〉

※その他の施工事例は「https://www.kmew.co.jp/shouhin/solido/typem/gallery.html」にて掲載中

目　　次

施工上のご注意　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

１．商品仕様

【1】商品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
【2】認定番号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

２．施工仕様

【1】適用範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
【2】推奨施工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
【3】施工材料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
【4】工具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

３．推奨施工法

【1】施工手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
【2】下地の確認・検査・・・・・・・・・・・・・・・・２５
【3】割付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
【4】切断加工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
【5】接着剤塗布、張付け・・・・・・・・・・・・・・・２６
【6】補修、お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
【7】参考納まり図・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５

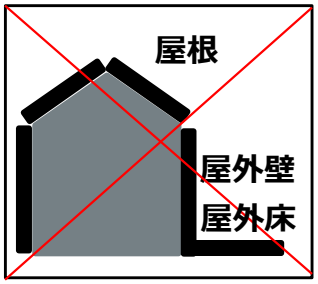
施工上のご注意

ご使用、施工の前に下記記載事項をよくお読みの上、安全に施工してください。

SOLIDO typeM_FLATは専門施工が必要です。
必ず施工は専門工事業者が行ってください。お施主様ご自身で施工は行わないでください。

適用部位以外での使用禁止

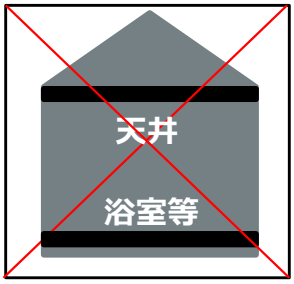
屋外への施工



屋外で施工しないでください。

※基準を満たせば、屋外壁にも施工できます。
（10、12ページ）

天井や浴室等への施工



天井で施工しないでください。
浴室、サウナ室等の水や熱の影響がある場所で施工しないでください。

反り、割れ、接着不良防止のための留意事項

乾燥硬化型接着剤の使用禁止

乾燥硬化型接着剤の使用は、製品の反りや接着不良の原因となりますので、ご注意ください。
(乾燥硬化型の接着剤には、主にエマルションタイプと溶剤タイプがあります。)

モルタル下地打設直後の施工禁止

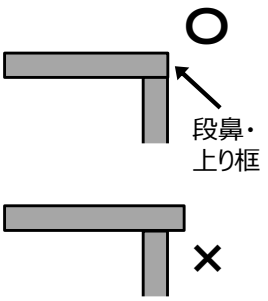
モルタル下地の場合、十分な養生期間を設けてから本製品を施工してください。
水分が完全に抜け切ってない状態で施工すると、本製品の反りや接着不良の原因となります。

施工上の留意事項

目地処理・突付け施工

目地材を充填しない場合、埃の詰まりや隙間、段差が目立ちやすくなります。
また、突付け施工する場合、割れ、欠け等の不具合や、部分的な目地の隙間や段差が目立つことがあります。
必要に応じて目地をとってください。

<床用途>
段鼻・上り框(かまち)部の施工



階段の段鼻や玄関の上り框(かまち)部分は、破損防止のため端部が出っ張らないように施工してください。

施工上のご注意

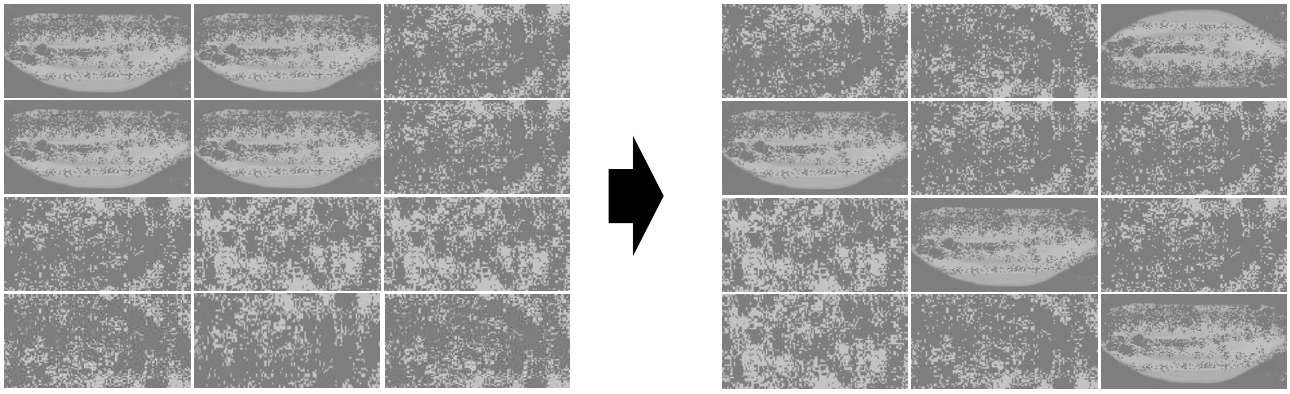
エフロ模様(柄)、色濃淡を活かした張り方について

SOLIDO typeMはその製法上、自然に生じるエフロレッセンスの模様に癖、色にむらが生じます。
施工前に仮並べをして、模様の癖や色むらがあるものの配置を調整してから施工するようにしてください。
※模様、色むらに関する返品、交換はできませんので、予めご了承ください。

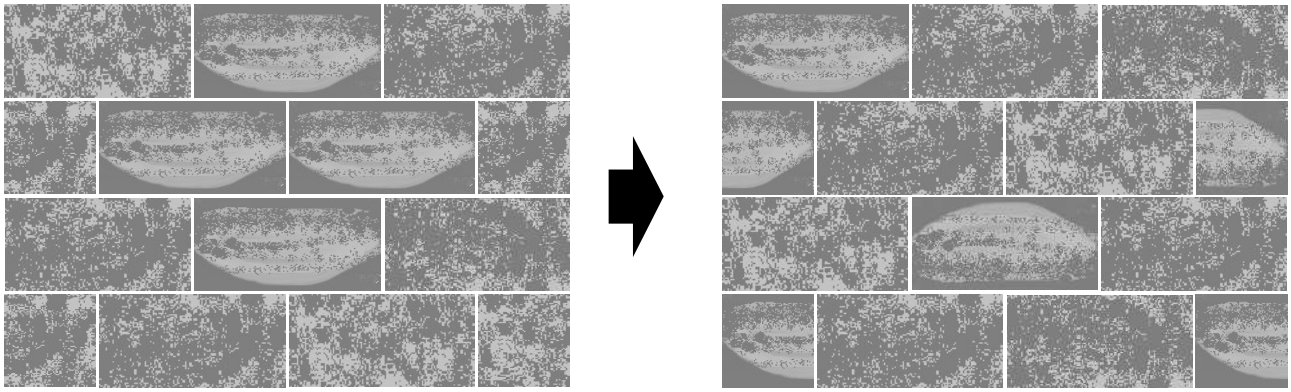
エフロ模様(柄)の活かし方

似たようなエフロ模様のものを同じ箇所に固めず、全体的に混ぜて配置してください。
また、上下の向きを逆向きにしたり、切断して施工する材に使用すると、より仕上がりが綺麗になります。

《芋張りの場合》



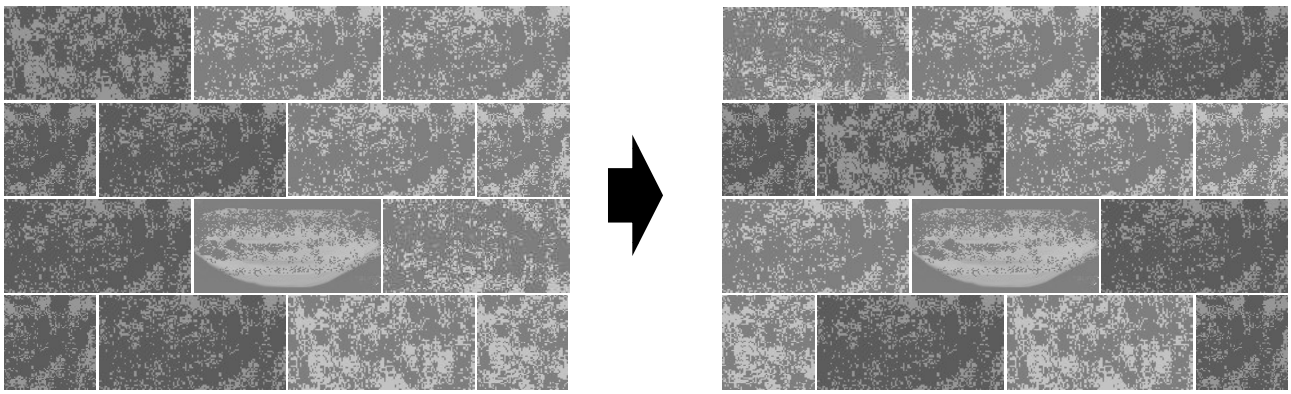
《馬張りの場合》



色むらの活かし方

似たような色むら(濃淡)のものを同じ箇所に固めず、全体的に混ぜて配置してください。

《馬張りの場合》



１．商品仕様

【1】商品仕様
【2】認定番号

1．商品仕様

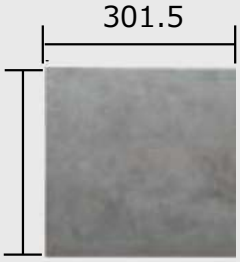
【1】商品仕様

〈商品〉SOLIDO typeM_FLAT

606×303

606×151.5

301.5×301.5



〈色揃え(4色)〉

鉄黒

セメント

錆茶

灰

注）本製品は素材から出た自然な色合いになるため、1枚1枚の色味が異なります。

〈商品仕様〉

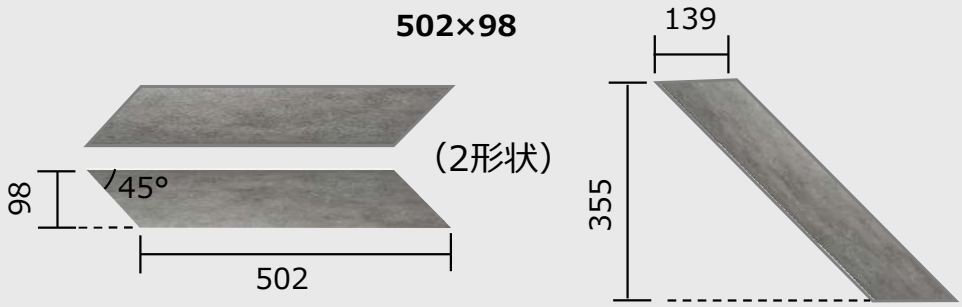
項　目	仕　様		
	SOLIDO typeM_FLAT 606×303	SOLIDO typeM_FLAT 606×151.5	SOLIDO typeM_FLAT 301.5×301.5 ※1
使用部位	屋内壁、屋外壁 ※2、屋内床		
寸　法	横 606mm × 縦 303mm	横 606mm × 縦 151.5mm	横 301.5mm × 縦 301.5mm
厚　さ	6mm		
1枚の重量	約2kg	約1kg	約1kg
比　重	1.7		
張り上げ枚数	約5.5枚/m²	約11枚/m²	約11枚/m²
色名(品番)	鉄黒　(SMN72G)	鉄黒　(SMNH72G)	鉄黒　(SMNS72G)
	セメント　(SMN85G)	セメント　(SMNH85G)	セメント　(SMNS85G)
	錆茶（SMN21G）	錆茶（SMNH21G）	錆茶（SMNS21G）
	灰（SMN65G）	灰（SMNH65G）	灰（SMNS65G）
梱包入数	10枚/箱	20枚/箱	10枚/箱

※1　本製品は他製品とモジュールが異なります。設計時にはご注意ください。
※2　屋外壁への使用には制限があります。詳細は12ページをご参照ください。

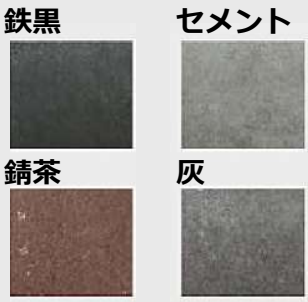
1．商品仕様

【1】商品仕様

〈商品〉SOLIDO typeM_FLAT ヘリンボーン



〈色揃え(4色)〉



注）本製品は素材から出た自然な色合いになるため、1枚1枚の色味が異なります。

〈商品仕様〉

項　目	仕　様
	SOLIDO typeM_FLAT ヘリンボーン
使用部位	屋内壁、屋外壁※、屋内床
寸　法	横 502mm × 縦 98mm
厚　さ	6mm
1枚の重量	約0.6kg
比　重	1.7
張り上げ枚数	約20.3枚/m²
色名（品番）	鉄黒　(SMNB72G)
	セメント　(SMNB85G)
	錆茶（SMNB21G）
	灰（SMNB65G）
梱包入数	30枚（2形状15セット）/箱

※　屋外壁への使用には制限があります。詳細は12ページをご参照ください。

1．商品仕様

【1】商品仕様

〈商品〉SOLIDO typeM_FLAT 研磨

606×303

〈色揃え(2色)〉

鉄黒　**セメント**

注）本製品は素材から出た自然な色合いになるため、1枚1枚の色味が異なります。

〈商品仕様〉

項　目	仕　様
	SOLIDO typeM_FLAT 研磨 606×303
使用部位	屋内壁、屋内床
寸　法	横 606mm × 縦 303mm
厚　さ	5.6mm
1枚の重量	約1.9kg
比　重	1.7
張り上げ枚数	約5.5枚/m²
色名(品番)	鉄黒　(SMNK72YG)
	セメント　(SMNK85YG)
梱包入数	10枚/梱

【2】認定番号

〈不燃材料認定番号〉

不燃材料	認定番号　NM－4601（1）
一般名称	窯業系平形スレート

注）本製品は日本産業規格(JIS)に、適合しておりません。

2．施工仕様

【1】適用範囲
【2】推奨施工法
【3】施工材料
【4】工具

SOLIDOtypeM_FLATは、屋内壁、屋内床、屋外壁（詳細は10、12ページ）に使用できます。
本推奨施工法では、各ページがどの部位について説明しているか分かるよう、
以下の通り、ページ右上に該当部位の○×表を付けています。

例）屋内壁、屋内床について説明している場合

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	×	○

2．施工仕様

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【1】適用範囲

項　目		箇　所
適用部位		・屋内の垂直壁 （基準を満たせば、屋外壁にも使用できます。詳細は12ページご参照） ・軽歩行の屋内床
使用可能箇所	屋内壁	・居間　・玄関壁　・廊下壁　　等
	屋内床	・土間　・玄関床　・小規模店舗、事務所等の床　等 （いずれも土足または上履き（スリッパ含む）で歩行する箇所）
	屋外壁	・ピロティ部分の外壁　等 （十分に軒があり雨がかからない等、屋内に準ずるような場所） ※屋外壁への使用には制限があります。 詳細は12ページをご参照ください。
使用禁止箇所		・浴室、サウナ室 ・接着剤の耐熱温度(80℃)よりも雰囲気温度が高温になる箇所 ・中歩行、重歩行が想定される床 ・床暖房、直接熱の伝わる暖房器具がある場所 ・スロープ等の勾配がある場所
使用上注意が必要な箇所		・水が常に溜まる箇所、頻繁にかかる箇所 ・汚れが心配される箇所（例：トイレ、キッチン周辺） ・火気の使用により高温になる箇所（例：暖炉、ガスコンロ周辺）

※屋根や天井、屋外床への施工はしないでください。
※素足（靴下、ストッキング含む）で歩行する屋内床、中歩行や重歩行のような歩行量が多い屋内床への施工は推奨しません。
※浴室やサウナ室等で施工しないでください。水や熱、湿気等の影響により反りや割れなどの原因となります。
※雰囲気温度が80℃以上になる箇所で施工しないでください。本製品の反り・脱落等の原因となります。
※施工時の温度は5～35℃の温度範囲で行ってください。極端な低温・高温環境は接着不良等の不具合の原因となります。
※床暖房、直接熱の伝わる暖房器具がある場所には施工しないでください。変形、変色、割れや目地空きが生じる可能性があります。
※上記の「使用上注意が必要な箇所」への施工は不具合が生じる恐れがあるので、推奨しておりません。使用可否につきましては、お客様でご判断ください。
※適用地域、適用建築物の指定はございません。

●商品ごとの適用部位は、下表をご確認ください。

		屋内			屋外		
		壁	床	天井	壁	床	屋根
typeM_FLAT	606×303	○	○	－	※	－	－
	606×151.5	○	○	－	※	－	－
	301.5×301.5	○	○	－	※	－	－
typeM_FLAT　ヘリンボーン	502×98	○	○	－	※	－	－
typeM_FLAT　研磨	606×303	○	○	－	－	－	－

※　屋外壁へ施工する場合
・高さ４m以下の壁面でご使用ください。
・十分に軒があり雨がかからない等、屋内に準ずるような場所にのみご使用いただけます。
例）軒高さ４mの場合、軒の出５m以上
・基準の詳細は12ページをご参照ください。

2．施工仕様

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	×	×

【2】推奨施工法

●本製品の推奨工法は下記の接着剤張り工法となります。
●推奨工法以外の工法は品質面、安全面等を考慮の上、決定してください。

＜1＞屋内壁

項　目			仕　様
適用下地材			・せっこうボード（GB-R,GB-F,GB-S、9.5mm厚以上） ・合板（１類以上、9mm厚以上） ・けい酸カルシウム板（比重1.0以上、6mm厚以上） ・コンクリート、モルタル（水分が蒸発し、収縮しなくなっている状態） ※ビード接着工法の場合、コンクリート、モルタルは適用不可 ※LGSへの直張りは不可
接着剤張り工法	全面接着 ※1	接着剤	タイルエースPro(セメダイン株式会社)、または内壁用の同等性能品(１液湿気硬化型変成シリコーン樹脂系弾性接着剤、JIS A 5548適合品) ※２　エマルションタイプ、溶剤タイプの接着剤は使用不可
		塗布方法	全面接着(くし目3mm～)
		目地処理方法	金属部材、目地埋め（セメント系、弾性系）、目地埋めなし
	ビード接着	適用高さ	～３m
		接着剤・ 両面テープ	MPX-7(コニシ株式会社)とTMテープW1(コニシ株式会社)の併用
		塗布方法	本製品裏面へ両面テープの貼付け、接着剤のビード状塗布（直径7mm）
		目地処理方法	金属部材、目地テープ、目地埋め（セメント系、弾性系）、目地埋めなし
本製品の 切断工具			電動工具：ディスクグラインダー、電動丸ノコ 刃　　：ダイヤモンドカッターウェーブタイプ、または、セグメントタイプ

※１　適用高さは設けておりませんが、３mを目安として剥落防止策をご検討ください。
※２　ビード接着の場合、目地から下地が見える可能性があるため、下地の目地部に目地テープや塗装などの下処理等をお勧めします。

2．施工仕様

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	×	○	×

【2】推奨工法

●本製品の推奨工法は下記の接着剤張り工法となります。
●推奨工法以外の工法は品質面、安全面等を考慮の上、決定してください。

＜2＞屋外壁（雨がかりのない場所に限り適用）

項　目		仕　様
適用高さ		～４m
適用下地材		コンクリート、モルタル（水分が蒸発し、収縮しなくなっている状態）
接着剤張り工法（全面接着）	接着剤	タイルエースPro(セメダイン株式会社)、または外壁用の同等性能品（１液湿気硬化型 変成シリコーン樹脂系弾性接着剤、JIS A 5548適合品） ※エマルションタイプ、溶剤タイプの接着剤は使用不可
	塗布方法	下地への全面接着(くし目3mm～)
	目地処理方法	金属部材、目地埋め（セメント系、弾性系）、 目地埋めなし
本製品の切断工具		電動工具：ディスクグラインダー、電動丸ノコ 刃　　：ダイヤモンドカッター（ウェーブタイプ、または、セグメントタイプ）

●屋外に使用する場合は、下表の適用範囲基準から、必要軒の出や軒高さの算出をしてください。

（例）軒高さ1.8mの時、軒の出は３m以上必要

軒高さ（m）	軒の出（m）																						
	1.5	2	2.5	3	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9	4	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5	4.6	4.7	4.8	4.9	5
0.5																								
1																								
1.5																								
2																								
2.1																								
2.2																								
2.3																								
2.4																								
2.5																								
2.6																								
2.7																								
2.8																								
2.9																								
3																								
3.1																								
3.2																								
3.3																								
3.4																								
3.5																								
3.6																								
3.7																								
3.8																								
3.9																								
4																								

適用範囲

適用不可

※十分に軒の出があり、激しい降雨でも壁面に雨がかかるおそれのない部位にご使用ください。
※typeM_FLAT研磨は屋内使用のみのため、ご使用いただけません。
※最下段は、地面から離して本製品に雨水等が滞留しないように施工してください。

2．施工仕様

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	×	×	○

【2】推奨工法

●本製品の推奨工法は下記の接着剤張り工法となります。
●推奨工法以外の工法は品質面、安全面等を考慮の上、決定してください。

＜3＞屋内床

項　目			仕　様
適用下地材	工法		
	木質系	根太	合板（１類以上）9mm厚×2枚以上　（根太　303mmピッチ以下） ※上張りと下張りの合板の継ぎ目はずらしてください。
			合板（１類以上）12mm厚×1枚以上　（根太　303mmピッチ以下）
			合板（１類以上）15mm厚×1枚以上　（根太　455mmピッチ以下）
		根太レス（剛床）	合板（１類以上）24mm厚以上（大引き・梁　1000mmピッチ以下） ※受け材を1000mmピッチ以下で入れてください。
		二重床	合板（１類以上）12mm厚×2枚以上、パーティクルボード20mm以上
	モルタル系		JIS A 6916のCM-2に適合する下地調整材にて、不陸調整したもの ※十分な養生期間を設けてから本製品を施工してください。
接着剤張り工法	接着剤		タイルエース床用(セメダイン株式会社)、または床用の同等性能品（１液湿気硬化型変成シリコーン樹脂系弾性接着剤） ※エマルションタイプ、溶剤タイプ、弾性系で硬化後も軟らかい接着剤、また、モルタルによる接着は製品の不具合につながるため、使用不可。
	塗布方法		全面接着(くし目5mm～) ※金属部材を使用する際は、下地と本製品裏の両面にくし目3mmで塗布
	目地処理方法		金属部材、目地埋め（セメント系、弾性系）、目地埋めなし
本製品の切断工具			電動工具：ディスクグラインダー、電動丸ノコ 刃　　：ダイヤモンドカッター（ウェーブタイプ、または、セグメントタイプ）

2．施工仕様

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	×

【3】施工材料

＜1＞接着剤（屋内壁・屋外壁）

●本製品の屋内壁、屋外壁施工用接着剤「タイルエースPro」の仕様は下表の通りです。
●「タイルエースPro」以外の接着剤をご使用される場合は、内外壁用の１液湿気硬化型変成シリコーン樹脂系弾性接着剤でかつ、JIS A 5548適合品をご使用ください。
ただし、本製品との接着性やシックハウス対応等の仕様について確認してからご使用ください。
※乾燥硬化型(エマルションタイプ、溶剤タイプ)の接着剤は、本製品の反りや接着不良となる恐れがあるため、使用しないでください。
※SOLIDO typeM_FLAT研磨は屋外ではご使用いただけません。

〈屋内外壁施工用接着剤「タイルエースPro」の仕様〉

項　目	仕　様
品名　(製造元)	タイルエースPro　(セメダイン株式会社) (外観)
ケイミュー発注品番	KLTAG
主成分	1液湿気硬化型変成シリコーン樹脂系弾性接着剤
色	グレー　※
内容量	2kg / 本
梱包入数（出荷単位）	9本/箱　(バラ：1本単位)
適合JIS規格	JIS A 5548 タイプⅠ、JIS A 5557
シックハウス対応	F☆☆☆☆、JAIA 4VOC基準適合
塗布方法	下地への全面塗布（ビード状や団子状の塗布は不可）
標準塗布量	くし目3mm(平滑下地)1.5～1.9kg/㎡ くし目5mm(平滑下地)2.0～2.5kg/㎡
接着可能環境温度	5～35℃
張付け可能時間	60分以内 / 23℃
	30分以内 / 35℃
使用不可な箇所	・直火が当たる箇所 ・アスファルト下地 ・雰囲気温度が80℃を超える箇所 ・吸水調整材を施した下地 ・常時水に浸漬している箇所

※セメダイン株式会社では、他にブラックとホワイトがありますが、ケイミュー株式会社では販売しておりません。
※タイルエースProは、セメダイン株式会社の商品として通常販売されている商品です。ケイミュー取扱い品とは、品番、価格が異なりますのでご注意ください。

2．施工仕様

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	×	×

【3】施工材料

＜2＞接着剤、両面テープ（屋内壁用）

●本製品の屋内壁施工用接着剤「MPX-7」および両面テープ「TMテープW1」の仕様は下表の通りです。
●「MPX-7」以外の接着剤をご使用される場合は、内壁用の１液常温硬化型変成シリコーン樹脂系弾力性接着剤でかつ、JIS A 5538適合品をご使用ください。
ただし、本製品との接着性やシックハウス対応等の仕様について確認してからご使用ください。
※乾燥硬化型(エマルションタイプ、溶剤タイプ)の接着剤は、本製品の反りや接着不良となる恐れがあるため、使用しないでください。

〈屋内壁施工用接着剤「MPX-7」および両面テープ「TMテープW1」の仕様〉

項　目	仕　様	
品名　(製造元)	MPX-7　(コニシ株式会社) (外観) 	TMテープW1　(コニシ株式会社) (外観)
ケイミュー 発注品番	KLTMB	KLTMW
主成分	1 液常温硬化型 変成シリコーン樹脂系 弾力性接着剤	アクリル系両面粘着テープ
内容量	333ml / 本	10m / 巻
梱包入数 (出荷単位)	20本/箱　(バラ：1本単位)	48巻/箱　(バラ：1巻単位)
適合JIS規格	JIS A 5538	–
シックハウス 対応	F ☆☆☆☆、JAIA 4VOC基準適合	–
塗布方法	SOLIDO typeM_FLAT裏面への ビード状塗布	SOLIDO typeM_FLAT裏面への 貼り付け
標準塗布量	塗布直径7mm 6.6m/㎡（0.8本/㎡）	5.0m/㎡（0.5巻/㎡）
接着可能 環境温度	5～35℃	0～40℃
張付け可能時間	15分以内 / 23℃	–
使用不可な箇所	・直火が当たる箇所 ・アスファルト下地 ・雰囲気温度が80℃を超える箇所 ・吸水調整材を施した下地 ・常時水に浸漬している箇所	

※「MPX-7」「TMテープW1」は、コニシ株式会社の商品として通常販売されている商品です。
ケイミュー取扱い品とは、品番、価格が異なりますのでご注意ください。

2．施工仕様

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	×	×	○

【3】施工材料

＜3＞接着剤（屋内床用）

●本製品の屋内床施工用接着剤「タイルエース床用」の仕様は下表の通りです。
●「タイルエース床用」以外の接着剤をご使用される場合は、床用の１液湿気硬化型変成シリコーン樹脂系微弾性接着剤をご使用ください。
ただし、本製品との接着性やシックハウス対応等の仕様について確認してからご使用ください。
※乾燥硬化型(エマルションタイプ、溶剤タイプ)の接着剤や、弾性系接着剤で硬化後も軟らかい接着剤は、本製品の反りや接着不良となる恐れがあるため、使用しないでください。

〈屋内床施工用接着剤「タイルエース床用」の仕様〉

項　目	仕　様
品名　(製造元)	タイルエース床用(セメダイン株式会社) (外観)
ケイミュー発注品番	KLTAF
主成分	１液湿気硬化型変成シリコーン樹脂系微弾性接着剤
色	ホワイト
内容量	1.9kg / 本
梱包入数（出荷単位）	9本/箱　(バラ：1本単位)
シックハウス対応	F ☆☆☆☆、JAIA 4VOC基準適合
塗布方法	下地への全面塗布（ビード状や団子状の塗布は不可）
標準塗布量	くし目5mm（平滑下地）1.9kg/㎡ くし目7mm（平滑下地）3.8kg/㎡
接着可能環境温度	5～35℃
張付け可能時間	40分以内 / 23℃
	15分以内 / 35℃
使用不可な箇所	・直火が当たる箇所 ・アスファルト下地 ・雰囲気温度が80℃を超える箇所 ・吸水調整材を施した下地 ・常時水に浸漬している箇所

※タイルエース床用は、セメダイン株式会社の商品として通常販売されている商品です。ケイミュー取扱い品とは、品番、価格が異なりますのでご注意ください。

2．施工仕様

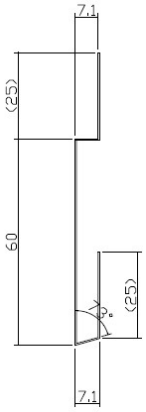
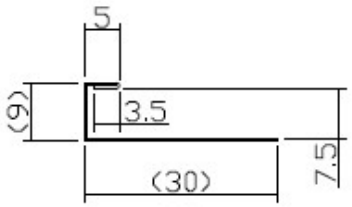
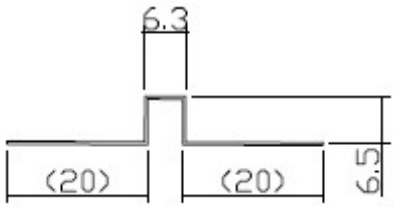
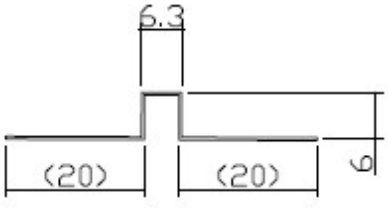
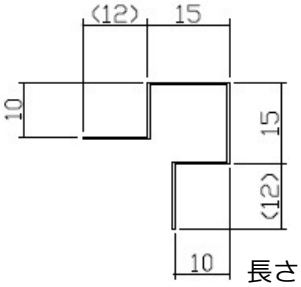
該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【3】施工材料

＜4＞金属部材

●屋内壁、屋外壁および屋内床用金属部材の仕様は下表の通りです。
●下地条件、使用環境に応じ適切なものを選定の上、ご使用ください。
●接着剤等でSOLIDOを張付ける前、もしくは同時に施工してください。

〈HLステンレス部材〉

品名	品番	形状・寸法	適用箇所	入数	材質
HLステンレス巾木	KLSH114	 長さ：2000mm	壁	4本 / 梱	ステンレス (ﾍｱﾗｲﾝ仕上げ) 0.4mm厚
HLステンレス見切り	KLSM114	 長さ：2000mm	壁	5本 / 梱	
HLステンレス目地材	KLSJL114	 長さ：2000mm	壁 床	5本 / 梱	
HLステンレス目地材（短辺用）※	KLSJS114	 長さ：303mm	壁 床	20本 / 梱	
HLステンレス出隅	KLSD114	 長さ：2730mm	壁	2本 / 梱	

※606×151.5、301.5×301.5、ヘリンボーン の商品には、サイズが適合いたしません。ご注意ください。

2．施工仕様

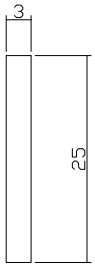
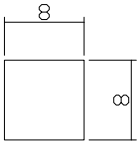
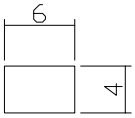
該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【3】施工材料

＜4＞金属部材

●屋内壁、屋外壁および屋内床用金属部材の仕様は下表の通りです。
●下地条件、使用環境に応じ適切なものを選定の上、ご使用ください。
●接着剤等でSOLIDOを張付ける前、もしくは同時に施工してください。

〈真鍮部材〉

品名	品番	形状・寸法	適用箇所	入数	材質
真鍮　巾木	KLSH2	 長さ：2000mm	壁 (巾木)	2本 / 梱	真鍮
真鍮　見切り 出隅 入隅	KLSS2	 長さ：2000mm	入隅 見切り 出隅	3本 / 梱	
真鍮　目地	KLSJL2	 長さ：2000mm	目地	4本 / 梱	

●本製品は表面処理をしていない無垢の真鍮を使用しています。
●製造時の細かなキズ、黒ずみ、くすみ等も含めて真鍮素材の個性であり、SOLIDOに馴染む風合いと考えております。ご理解の上ご使用ください。
●黒ずみ・くすみ、使用環境によってはサビなどが生じる場合があります。これらは真鍮素材特有の経年変化であり不良ではありません。真鍮ならではの個性としてご了承ください。
●黒ずみ等が気になる場合は、使用面を変更または研磨することをご検討ください。
●表面を研磨する場合は、市販の不織布研磨シート#400～#800をご使用ください。
サンドペーパーをご使用の場合は、研磨スジが残りやすいため#800～#1000をご使用ください。
●市販の真鍮用クリーナー等もご使用いただけます。クリーナーの取扱説明書等をよく読んでご使用ください。
●電食の恐れのある金属との接触は避けてください。

2．施工仕様

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	×	○

【3】施工材料

＜5＞目地テープ

●屋内壁のビード接着工法時にご使用いただける目地テープの仕様は以下の通りです。
●SOLIDOを施工する前に、目地底部の下地に対して貼り付けてご使用ください。

品名 外観	品番	寸法	標準使用量	適用 箇所	材質	梱包入数 (出荷単位)
目地テープ 	KLST2	幅20mm 長さ50m	約６m/㎡ (606×303㎜ の場合)	屋内壁	オレフィンシート (裏面：アクリル系 粘着剤付)	44巻/箱 (バラ：1巻単位)

＜6＞目地材

●目地材は、下地条件、使用環境に応じ適切なものを選定の上、ご使用ください。
●使用する目地材の施工方法や使用上の注意事項等をご確認頂いた上で施工してください。
●目地材は、接着剤が硬化してから施工するようにしてください。

項　目	仕　様	
製品名	目地セメント	フレックスカラー
外観		
メーカー	二瀬窯業株式会社	リビエラ株式会社
材質・成分	セメント	弾性（樹脂系）
色	白、灰、濃灰、黒	ホワイト、クリーム、 ライトグレー、ナチュラル、 ダークグレー、ブラック
内容量	25kg/袋	5kg/ケース
適用箇所	屋内壁、屋内床	屋内壁、屋内床
シックハウス対応	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆
調合比率	セメント25kg/ 水5.5～6.0ℓ	調合なし
施工可能温度	4℃以上	5℃～35℃
メーカー推奨目地幅	床タイル推奨目地幅3～12mm	2～10mm
メーカー推奨目地厚	記載なし	壁3㎜以上、床5㎜以上
参考使用量※ （目地幅5mm）	0.4kg/㎡	0.35kg/㎡
問い合わせ先	二瀬窯業株式会社 福岡営業所(本社) 0948-22-0447 東京営業所　03-6453-6685 名古屋営業所　052-509-2485 大阪営業所　06-6583-3310	リビエラ株式会社 本社　050-1731-1369

※SOLIDO typeM_FLAT 606×303（目地幅5mm）での目安使用量

2．施工仕様

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【4】工具

＜7＞くし目ゴテ・コーキングガン

●タイルエースPro、タイルエース床用での全面接着の場合、接着剤塗布時にはくし目ゴテをご使用ください。
●MPX-7でのビード接着の場合、接着剤塗布時にはコーキングガンをご使用ください。
●弊社ではくし目ゴテおよびコーキングガンの取扱いをしておりませんので、市販品をご利用ください。

イメージ

くし目ゴテ

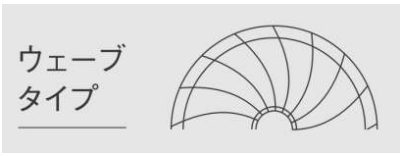
コーキングガン

＜8＞切断工具

〈本体切断用〉

●本製品の切断加工には、電動丸ノコまたは、ディスクグラインダーをご使用ください。
刃については、ダイヤモンドカッター（ケイミュー純正品または市販品）をご使用ください。
ケイミュー純正品の仕様は下表の通りです。
市販品を使用する場合、刃の形状はウェーブタイプまたは、セグメントタイプとしてください。

品名	ダイヤモンドカッター （ウェーブタイプ）
形状	
品番	KLKGSH
材質	ダイヤモンドチップ
入数	1枚
使用可能回転数	14500回転以下/分



〈部材切断用〉

●金属部材の切断には、電動丸ノコまたは、ディスクグラインダーをご使用ください。
刃については、部材材質（ステンレス、真鍮）に適したものをご使用ください。
ステンレス素材は、切断時の摩擦熱で変色する場合がありますので、注意して切断してください。
切断時のバリでケガをする恐れがあります。ヤスリ等で取り除いてください。
HLステンレス部材は、ステンレスに対応した板金ハサミでの切断も可能です。
HLステンレス見切りは、材料の重なった部分が切りにくいためご注意ください。

2．施工仕様

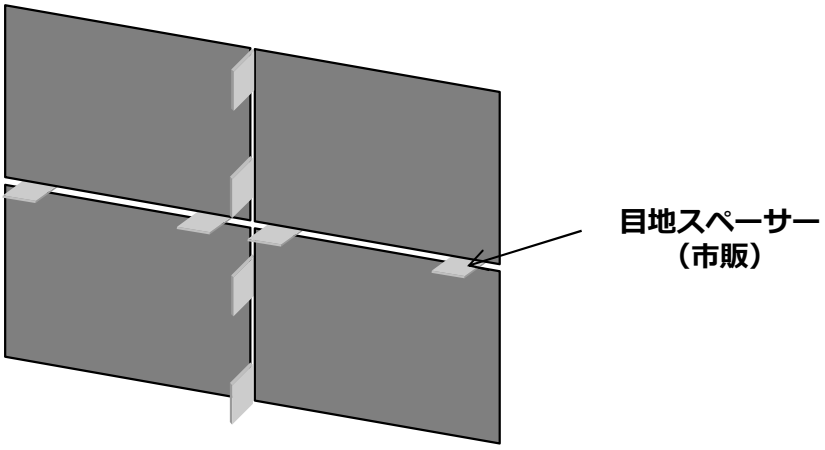
該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【4】工具

＜9＞スペーサー(目地幅調整用)

●目地幅の隙間調整には、市販の目地スペーサー等を下図のように目地の間に差し込んで調整してください。

(参考)



＜１０＞レベリング部材（段差の緩和、目地幅調整用）

●市販のタイル用レベリング部材をご使用いただけます。
下地の不陸等による本製品間の段差の緩和や、目地幅の調整等にご使用ください。
●両面テープを併用した接着工法（27ページ参照）の場合、両面テープの影響により、
レベリング効果が得られにくくなります。ご注意ください。
●レベリング部材は、「クリップタイプ」「ねじタイプ」など様々なものが販売されております。
本製品の厚み、目地幅、施工方法等の条件に適したものをご使用ください。
●ご使用になるレベリング部材の施工方法、注意事項等を確認の上、ご使用ください。
●レベリング部材をご使用の場合でも、本製品裏面への接着剤付着率が均一に6割以上（屋内壁）、
9割以上（屋内床・29ページ参照）となるように、施工してください。
浮き、脱落といった不具合が発生する恐れがあります。
●すべての段差が解消されるわけではありません。ご理解の上、ご使用ください。

3．推奨工法

【1】施工手順
【2】下地の確認・検査
【3】割付け
【4】切断加工
【5】接着剤塗布、張付け
【6】補修、お手入れ
【7】参考納まり図

SOLIDOtypeM_FLATは、屋内壁、屋内床、屋外壁（詳細は10、12ページ）に使用できます。
本推奨施工法では、各ページがどの部位について説明しているか分かるよう、
以下の通り、ページ右上に該当部位の○×表を付けています。

例）屋内壁、屋内床について説明している場合

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	×	○

3．推奨工法

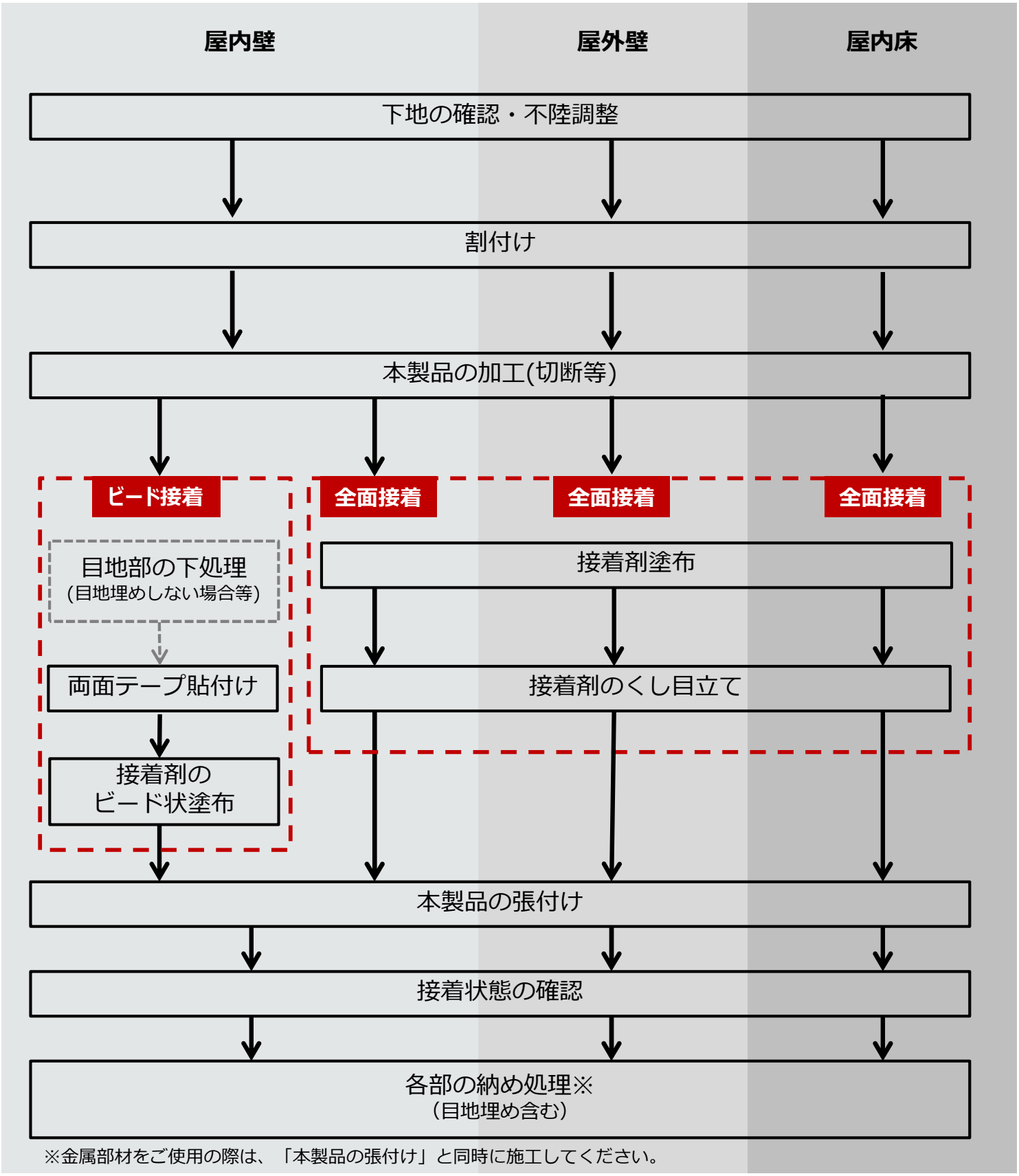
該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【1】施工手順

〈施工手順〉

●本製品の施工手順は下図の通りです。

〈施工手順フロー図〉



※金属部材をご使用の際は、「本製品の張付け」と同時に施工してください。

3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【2】下地の確認・検査

〈下地の確認・検査〉

●接着剤を塗布する前に、下表の各項目について確認、検査をしてください。
基準外の場合、施工後の外観不良や本製品の脱落が発生する恐れがあります。

確認項目	屋内壁・屋内床
	判断基準（接着剤が塗布可能な状態）
不陸、 継ぎ目部の段差、目違い	不陸　2000mmあたり　1mm以下（屋内壁） 3000mmあたり 7mm以下（屋内床） 段差・目違い　1mm以下
留付け材（釘やビス等）の浮き	下地表面より出ていないこと
乾燥状態	十分に乾燥していること
表面のほこり、汚れ	除去されていること

※下地の表面に粉ふきの多い場合や表面強度が弱い場合は、接着不良やはがれが発生することがあります。
特に下地がコンクリートやモルタルの場合、水分が完全に蒸発し、乾燥収縮が発生しない状態になってから施工してください。水分の蒸発により接着不良や本製品が反ったり、下地の収縮により本製品に割れ等の不具合が発生する恐れがあります。

【3】割付け

●本製品は同じ色であっても、1枚毎に色合いが異なります。
本製品の配置については、本資料4ページを参考に事前にご検討ください。
●その他の割付け方法に特別指定はありませんが、接着不良や外観不良の原因となりますので、
極端に小さな寸法で使用しないように、バランスを考慮して割付けてください。
●突付けて施工すると、本製品の割れ、欠け等の不具合や部分的に目地の隙間が発生したり、突付け部の段差が目立つ恐れがあります。必要に応じて目地をとるようにしてください。
※屋内壁で間接照明を当てる場合には、目地幅が狭いと不陸が強調されます。不陸調整が難しい時は、目地幅を広くとることをおすすめします。
※段差が怪我の原因になる恐れがあるため、注意してください。
●屋内壁の入隅部、他部材との取合いは金属部材をご使用いただくか、もしくは空き目地、
シーリング納めとしてください。
●目地埋めをする際は、下地条件、使用環境に応じ適切なものを選定し施工してください。
※屋内床に施工する際、埃詰まり、隙間や段差の目立ちを軽減するため、3～5mm程度の目地を空けて、目地材を充填することを推奨します。
●屋内床施工時は他部材との取合い部に大きな段差ができないようご注意ください。

【4】切断加工

〈本体の加工方法〉

●本製品の切断加工には、電動丸ノコまたは、ディスクグラインダーを使用してください。
※タイルカッターで切断すると、本製品の割れや欠けの原因になりますので、お止めください。
●刃については、ダイヤモンドカッターのウェーブタイプまたはセグメントタイプ（下図）をご使用ください。
ケイミュー純正品の仕様については、本資料20ページをご確認ください。
市販品を使用する場合、コンクリート用乾式切断タイプとしてください。
●切断する際は、集塵機能付きの切断工具や防塵マットを使用し、保護メガネや防塵マスク等を着用する等の防塵対策を充分にし、安全面、衛生面に注意してください。
※木材用、鉄鋼用、窯業系サイディング用は刃の焼付き、破損の危険があるため、使用しないでください。

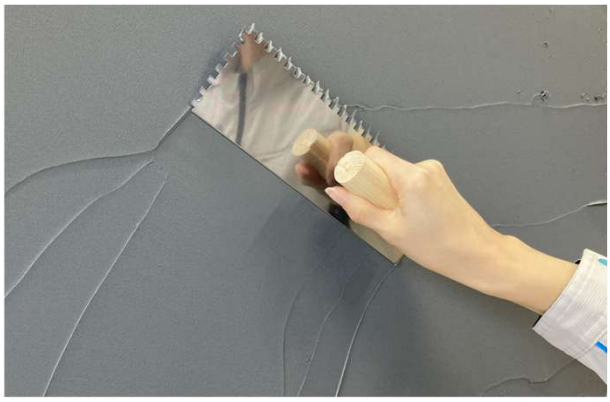
3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	×

【5-1】接着剤塗布、張付け ー全面接着（タイルエースPro）ー

＜1＞接着剤塗布（全面接着：タイルエースProを使用する場合）

●接着剤をパックから、必要量絞り出してください。
●くし目ゴテを用いて、標準の塗布量を下地全面にくし目を立てるように均一に塗布してください。
（下写真ご参照）
※くし目3mm施工時の塗布量の目安は1.5～1.9kg/㎡です。
※団子接着やビード接着をされると、施工後の外観不良や本製品の脱落につながる恐れがあるため、お止めください。
※張付け可能時間の目安は、塗布後30分以内/35℃、60分以内/23℃です。
※塗布は5～35℃の温度環境下で行うようにしてください。
※濡れている下地面には塗布しないでください。
※接着剤の硬化を防ぐため、使用するまではパックを開封しないようにしてください。
開封後は、早めに使い切るようにしてください。



接着剤塗布

くし目立て

3．推奨工法

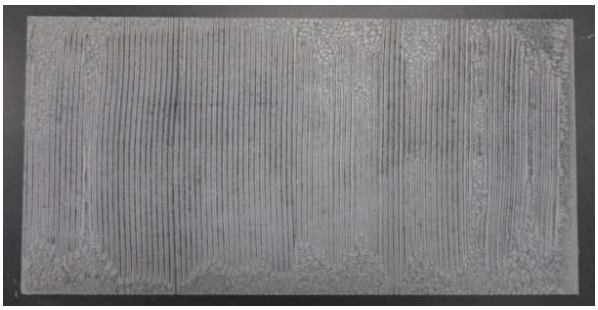
該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	×

【5-1】接着剤塗布、張付け ー全面接着（タイルエースPro）ー

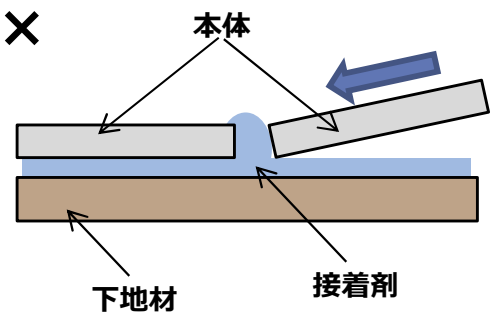
＜2＞張付け（全面接着：タイルエースProを使用する場合）

●本製品張付け作業開始前に本製品への接着剤付着率（均一に6割以上）の確認を行ってください。
※付着率が少ない場合、本製品に浮きや接着不良による脱落が発生する恐れがあります。
●張付ける際は、本製品をもみこむように押さえつけ、圧着してください。
●突付けや細い目地幅の場合、圧着時に目地部から接着剤がはみ出ることがあります。
※張付け前に目地位置周辺の接着剤を軽くかき取っておくとはみ出しにくくなります。
※はみ出してしまった場合は、表面に接着剤が付着しないように丁寧に取り除いてください。
●下地がコンクリートやモルタルの場合、水分が完全に蒸発し、乾燥収縮が発生しない状態になってから施工するようにしてください。
※水分の蒸発により接着不良や本製品が反ったり、下地の収縮により本製品に割れ等の不具合が発生する恐れがあります。
●本製品には表裏面があり、裏面側に製造番号が印字してあります。表裏面を間違えて施工されると施工後の外観不良につながりますので、事前に表裏を確認の上、施工してください。
●目地埋めする場合、目地材の施工方法を確認し、適切な目地幅を設けて張付けてください。
※目地材を充填しない場合、埃が詰まったり、隙間や段差が目立ちやすくなります。
※突付けて施工する場合、本製品の割れ、欠け等の不具合や、部分的な目地の隙間や段差が目立つことがあります。必要に応じて目地をとるようにしてください。

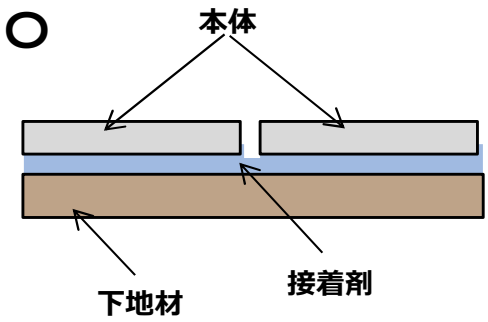
本製品の張付け



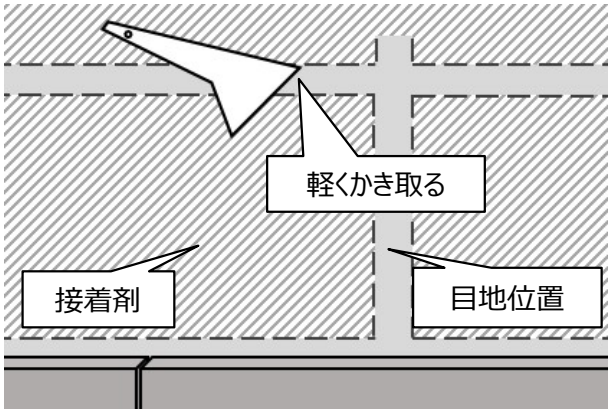
本製品裏面の接着剤付着の状態
(写真の付着率：約80%)



本体を張付ける際、押し付けながら位置をずらすと接着剤がはみ出しやすくなります。



本体張付け前に目地材周辺の接着剤をかき取るなどして、接着剤がはみ出さないように張り付けてください。



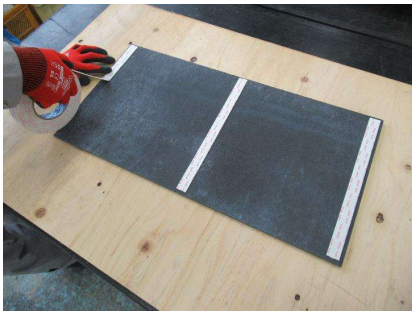
3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	×	×

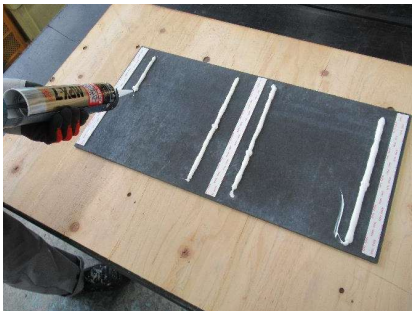
【5-2】接着剤塗布、張付け　ー ビード接着（MPX-７） ー

＜1＞接着剤塗布（ビード接着：MPX-7、TMテープW1を使用する場合）

●下記「塗布仕様図」を参考に、本製品裏面に両面テープをはり合わせ、しっかりと押さえて密着させます。
(目地テープを使用する場合は、両面テープを目地テープと干渉しない位置にはります。)
●同様に、接着剤を約７mm（鉛筆くらいの太さ）になるようにビード状（線状）に塗布してください。
●接着剤と両面テープの施工方法は下記塗布仕様図を参考にしてください。
●接着剤は両面テープ端部から20mm程度離して塗布してください。
※接着剤の塗布直径7mm施工時の塗布量の目安は6.6m/㎡(0.8本/㎡)です。
※接着剤の張付け可能時間の目安は、塗布後15分以内/23℃です。
※接着剤の塗布は５～35℃の温度環境下で行うようにしてください。
※両面テープの張付けは０～40℃の温度環境下で行うようにしてください。
※濡れている下地面には、使用しないでください。
※接着剤の硬化を防ぐため、使用するまではカートリッジを開封しないようにしてください。
開封後は、早めに使い切るようにしてください。
※一度はがしたりはがれたりした両面テープは粘着力が低下しているため、再使用せず新しいものを使用してください。
※コンセントボックスなどの穴あけ部や、切り欠き部の周囲には、両面テープを追加してください。
※切断して小片になった場合でも、両面テープのみや接着剤のみでは施工しないでください。

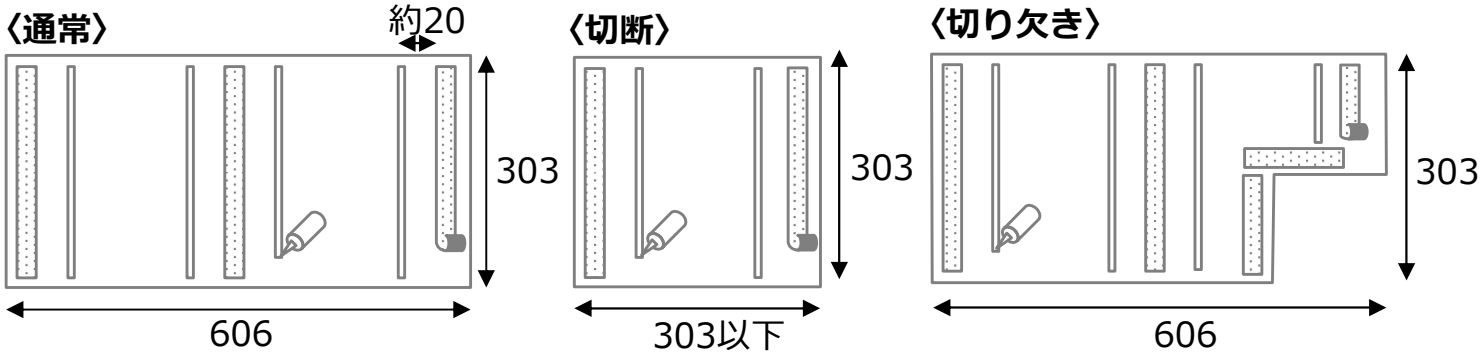


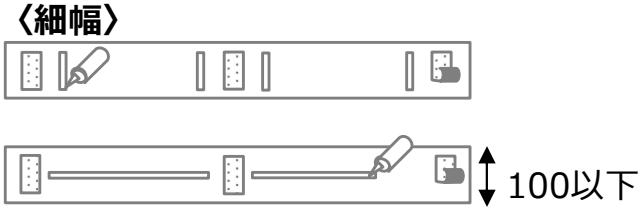
両面テープはり合わせ

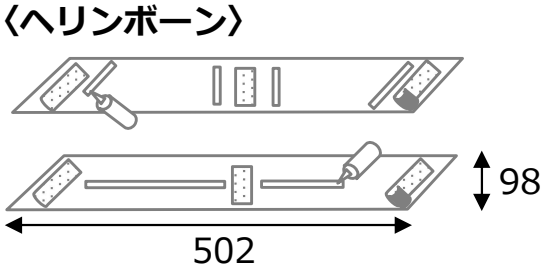


接着剤のビード状塗布

塗布仕様図







※本製品幅が100mm以下の場合、
接着剤は横向きに塗布しても構いません。

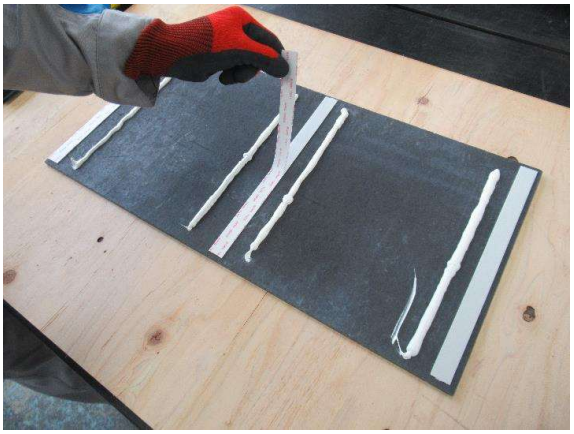
3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	×	×

【5-2】接着剤塗布、張付け　ー ビード接着（MPX-７） ー

＜2＞張付け（ビード接着：MPX-7、TMテープW1を使用する場合）

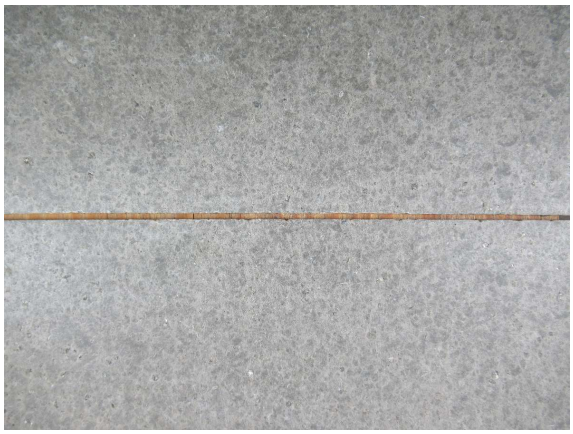
●両面テープが本製品からはがれないように注意しながらはく離紙をはがしてください。
●張付ける際は、本製品の表面から両面テープ・接着剤の位置を充分に加圧し、下地面と密着させてください。
●本製品には表裏面があり、裏面側に製造番号が印字してあります。表裏面を間違えて施工されると施工後の外観不良につながりますので、事前にご確認ください。



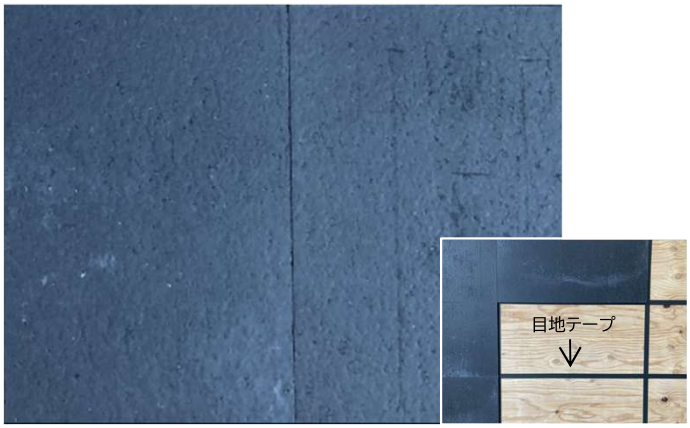
両面テープのはく離紙の除去

本製品の張付け

●目地埋めする場合、目地材の施工方法を確認し、適切な目地幅を設けて張付けてください。
●突付けて施工するなど、目地材を充填しない場合、埃が詰まったり、隙間や段差が目立ちやすくなります。また、隙間から下地が見える場合がありますので、目地テープを施工するなどの対策をとってください。
●突付けて施工する場合、本製品の割れ、欠け等の不具合や、部分的な目地の隙間や段差が目立つことがあります。必要に応じて目地をとるようにしてください。



目地部の下処理を行わなかった例
(写真は合板下地)



目地部の下処理を行った例
(写真は目地テープ)

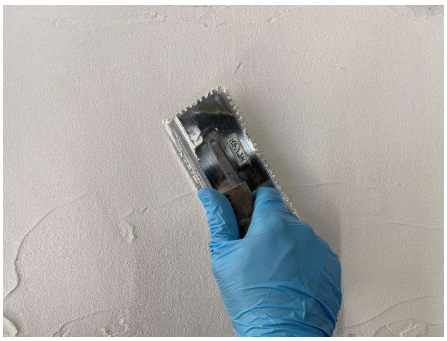
3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	×	×	○

【5-3】接着剤塗布、張付けー 全面接着（タイルエース床用）ー

＜1＞ 接着剤塗布（全面接着：タイルエース床用を使用する場合）

●接着剤をパックから、必要量絞り出してください。
●くし目ゴテを用いて、標準の塗布量を下地全面にくし目を立てるように均一に塗布してください。
（下写真ご参照）
※くし目5mm施工時の塗布量の目安は1.9kg/㎡です。
※団子接着やビード接着は、施工後の外観不良、接着不良、割れにつながる恐れがあるため、お止めください。
※張付け可能時間の目安は、塗布後15分以内/35℃、40分以内/23℃です。
※塗布は5～35℃の温度環境下で行うようにしてください。
※濡れている下地面には塗布しないでください。
※接着剤の硬化を防ぐため、使用するまではパックを開封しないでください。
また、開封後は、早めに使い切るようにしてください。
※HLステンレス目地材をご使用の場合は、本資料P30＜1＞HLステンレス部材に記載の通り、くし目３mmで下地と本製品裏面の両方に接着剤を塗布してください。



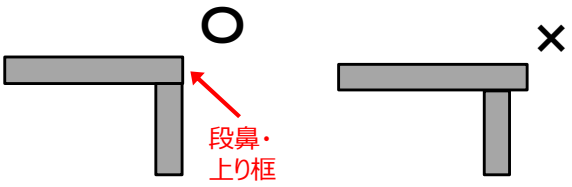
接着剤塗布

くし目立て

＜2＞張付け（全面接着：タイルエース床用を使用する場合）

●本製品張付け作業開始前に本製品への接着剤付着率（均一に9割以上）の確認を行ってください。
※付着率が少ない場合、空隙が発生し、本製品の浮きや歩行・落下物等による割れが発生する恐れがあります。
●張付ける際は、本製品をもみこむように押さえつけ、極力、段差ができないよう圧着してください。
●本製品の反りは、重しを載せて養生することで軽減することができます。
●突付けや細い目地幅の場合、圧着時に目地部から接着剤がはみ出ることがあります。
※張付け前に目地位置周辺の接着剤を軽くかき取っておくとはみ出しにくくなります。
はみ出してしまった場合は、表面に接着剤が付着しないように丁寧に取り除いてください。
●下地がコンクリートやモルタルの場合、水分が完全に蒸発し、乾燥収縮が発生しない状態になってから施工するようにしてください。
※水分の蒸発により接着不良や本製品が反ったり、下地の収縮により本製品に割れ等の不具合が発生する恐れがあります。
●本製品には表裏面があり、裏面側に製造番号が印字してあります。表裏面を間違えて施工されると施工後の外観不良につながりますので、事前にご確認ください。
●目地埋めする場合、目地材の施工方法を確認し、適切な目地幅を設けて張付けてください。
※目地材を充填しない場合、埃が詰まったり、隙間や段差が目立ちやすくなります。
●突付けて施工する場合、本製品の割れ、欠け等の不具合や、部分的な目地の隙間や段差が目立つことがあります。必要に応じて目地をとるようにしてください。
●階段の段鼻や玄関の上り框(かまち)部分は、破損防止のため端部が出っ張らないように施工してください。

本製品の張付け



段鼻・上り框(かまち)への施工

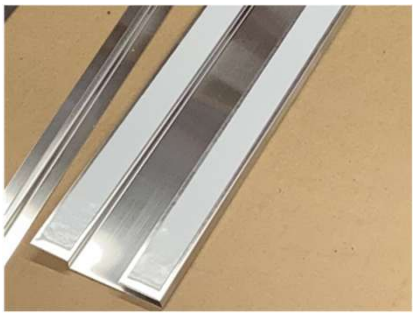
3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【5-4】接着剤塗布、張付け　－ 金属部材 ー

＜1＞HLステンレス部材

●HLステンレス部材を施工する際は、SOLIDOを張付ける前、もしくは張付けと同時に行ってください。
●出隅を使用する場合は、はじめに出隅を施工してからSOLIDOやその他部材を順次施工してください。
●部材を施工する際、巾木には「タイルエースPro」または「TMテープW1」、出隅・見切り・目地には「タイルエースPro」または「MPX-7」を使用して、部材を留め付けてください。
●ビード接着工法で施工する場合、使用する部材形状に合わせて、両面テープの貼り付け位置を調整してください。両面テープに接触して部材が入らなくなるおそれがあります。



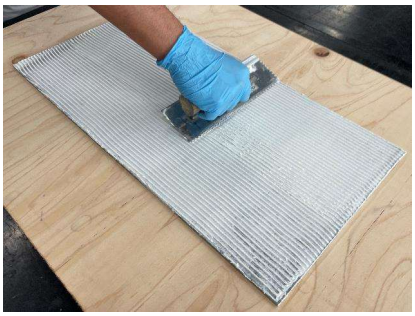
巾木に両面テープ貼付け

出隅および巾木の施工

目地材の施工

※屋内床に目地材を施工する場合は、「タイルエース床用」を使用して、
くし目3mmで下地とSOLIDO裏面（または目地材の足部表面）の両方に接着剤を塗布してください。
下地だけに接着剤を塗布すると、目地材の足部に接着剤が塗布されず、SOLIDO端部の浮きの原因になります。

下地への接着剤塗布（くし目3mm）



SOLIDO裏面への接着剤塗布（くし目3mm）

本製品の張付け

3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【5-4】接着剤塗布、張付け　－ 金属部材 ー

＜2＞真鍮部材

●真鍮部材を使用する際は、SOLIDOを貼り付ける前、もしくは張付けと同時に行ってください。
●出隅を使用する場合は、SOLIDOやその他部材を施工してから最後に出隅を施工します。
●部材を施工する際の接着剤は、「タイルエースPro」または「MPX-7」をご使用ください。
●出隅や見切等はみ出した接着剤が見えてしまうおそれがある部位には、
市販の透明タイプ接着剤「スーパーXクリア（セメダイン株式会社）」
「サイレックスクリヤー（コニシ株式会社）」をご使用ください。
接着剤の使用方法は取り扱い説明書をよく読んで適切にご使用ください。
●接着剤はみ出てしまった場合は、固まる前であればアルコールで拭き取ってください。
固まった後は、傷つけないようにヘラ等で削り取ってください。

入隅を先に施工

入隅および巾木の施工

**出隅はスペースをあけておき、
最後に施工**

**固まった接着剤は、
ヘラ等で削り取ってください**

3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【5-4】接着剤塗布、張付け　－ 金属部材 －

＜3＞目地埋め

●目地埋めは、接着剤が完全に硬化してから施工するようにしてください。
●目地埋めする際は、下地条件、使用環境に応じ適切なものを選定し施工してください。
●使用する目地材の施工方法や使用上の注意事項をご確認の上、施工してください。
●目地埋め後は、目地材が硬化するまで、目地を傷つけたり、ゴミが付着したりすることがないようシート養生等するようにしてください。
●弾性目地を使用する場合は、目地材が製品表面に付着しないように十分な養生を行ってください。

目地埋めなし

目地埋め後

3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	○

【6】補修、お手入れ

＜1＞補修塗料

●本製品の補修塗料は設定していません。

＜2＞施工後のお手入れ

●施工時、また、本製品の切断加工時についた切り粉や、鉛筆等の跡は、乾拭き、もしくは、水を含ませた柔らかい布(またはスポンジ)で拭き取るようにしてください。
●日常のお手入れは、乾拭きをしてください。
床面の場合は、ほうきや掃除機で砂やほこり等を取り除いてください。
●汚れがついた場合は、すぐに水または薄めた中性洗剤を含ませた、柔らかい布(またはスポンジ等)で汚れを拭き取ってください。柔らかい布またはスポンジ等で、表面の水分を十分拭き取ってください。
※中性洗剤を使用した場合は、柔らかい布またはスポンジ等で中性洗剤を十分ふき取ってください。
●製品表面が変質する場合があるので、水または中性洗剤以外のもので洗浄しないでください。
※金属タワシ等の硬いブラシ、高圧水による洗浄やスチーム洗浄の使用は外観を損なうおそれがあるため使用しないでください。
※酸性タイプの洗剤を使用すると、白華（エフロレッセンス）が消えることがあります。

洗浄に使用できないもの	有機溶剤類（ラッカーシンナー、灯油、石油ベンジン等） クレンザー類（ジフ、ホーミング、磨き粉等）、漂白剤（ハイター、ブライト等） 酸性・アルカリ性洗剤（マジックリン、マイペット、ドメスト、サンポール等） その他、業務用洗剤等、本製品を傷めるおそれのあるものは使用しないでください。

●メラミンフォームやデッキブラシなどによる清掃は表面に微細なキズを付けるおそれがあるため、使用しないでください。
●ポリッシャー等での清掃は、表面が摩耗して滑りやすくなるため、使用しないでください。※ 床面使用時
●株式会社リンレイ製の「石床用樹脂ワックス」を塗ることで
初期外観を維持し、水じみや汚れが付きにくくなります。
ワックスを使用するとつやが変わりますので、事前にご確認の上ご使用ください。
約6か月を目安にワックスの再塗布をご検討ください。※床面使用時

●鳥の糞や砂ぼこり、藻、カビなどの汚れを落とす場合には、水で濡らした柔らかいブラシやスポンジ等を利用して少量の水で洗浄してください。水洗いで落ちない場合は、薄めた中性洗剤をご使用ください。
中性洗剤を使用した場合は、水で濡らした柔らかいブラシやスポンジ等を利用して少量の水で中性洗剤を取り除いてください。
直接壁面に大量の水をかける清掃は、行わないでください。　※屋外壁使用時

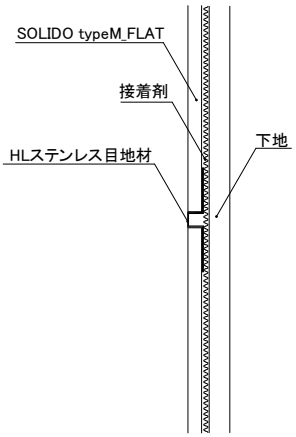
3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	×

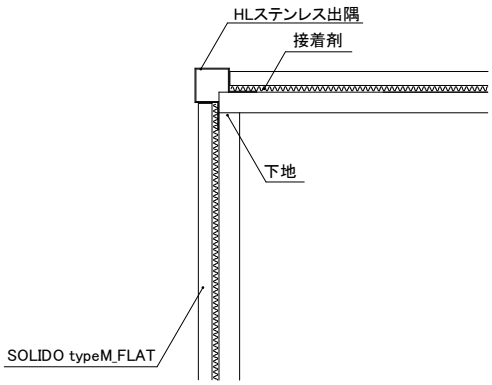
【7】参考納まり図　ー 屋内壁・屋外壁 ー

＜1＞ステンレス部材の場合

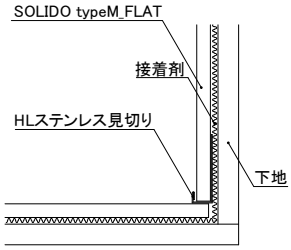
一般部



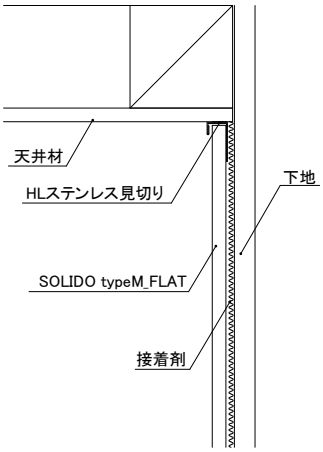
出隅部



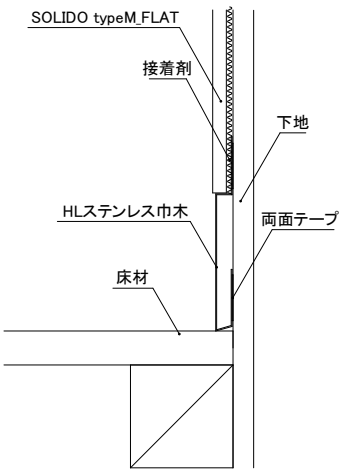
入隅部



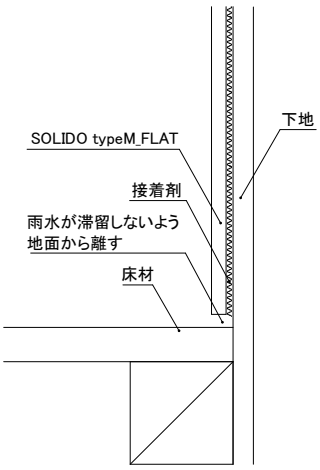
天井との取合い



床との取合い（金属部材使用時）



床との取合い（屋外使用時）



3．推奨工法

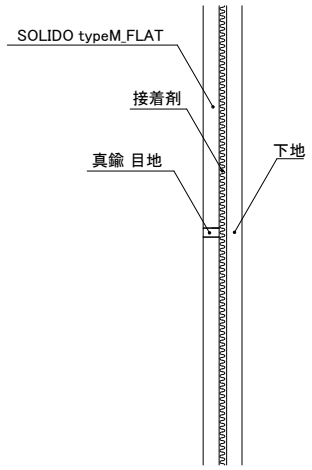
該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	○	○	×

【7】参考納まり図　ー 屋内壁・屋外壁 ー

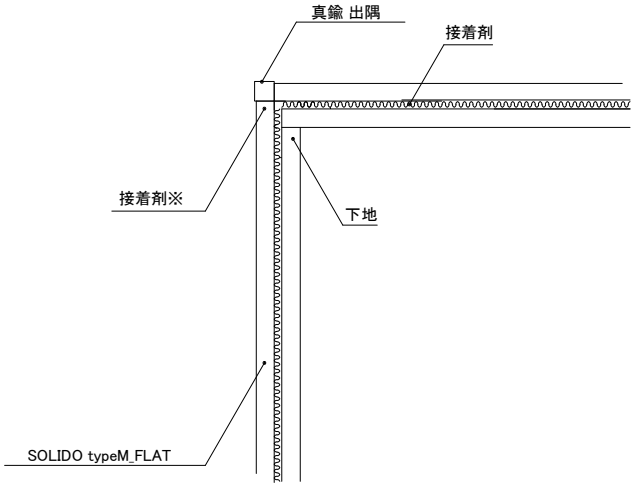
＜2＞真鍮部材の場合

※推奨接着剤を使用して留めつけてください

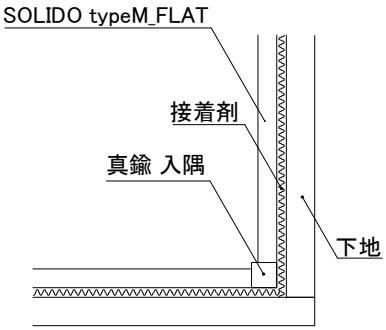
一般部



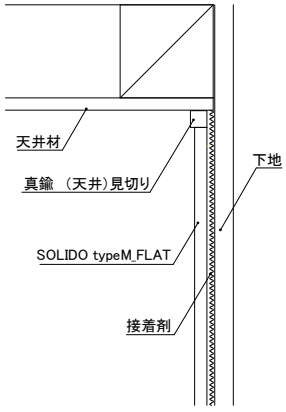
出隅部



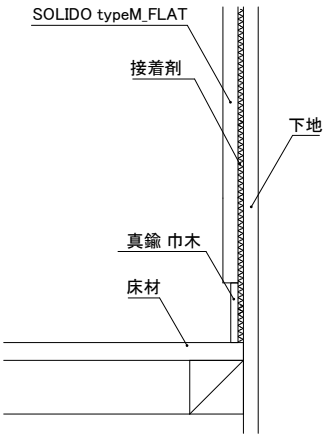
入隅部



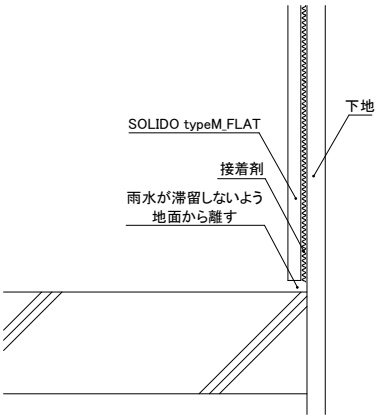
天井との取合い



床との取合い（金属部材使用時）



床との取合い（屋外使用時）



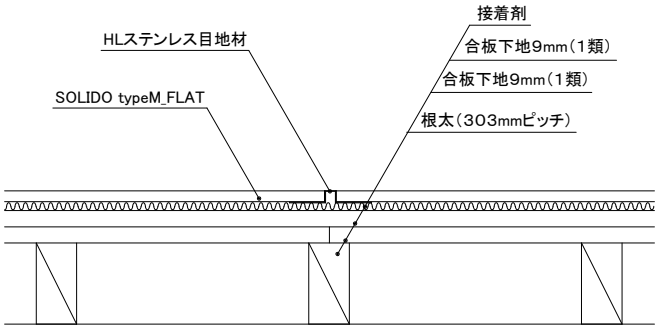
3．推奨工法

該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	×	×	○

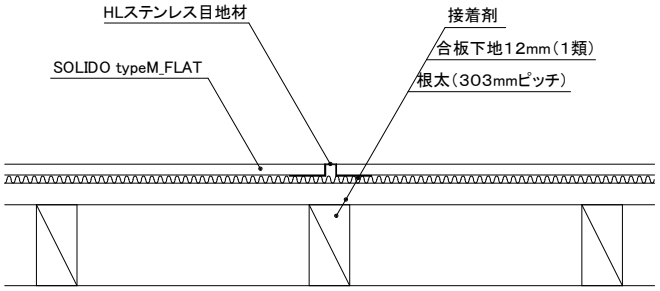
【7】参考納まり図　ー 屋内床 ー

＜1＞ステンレス部材の場合

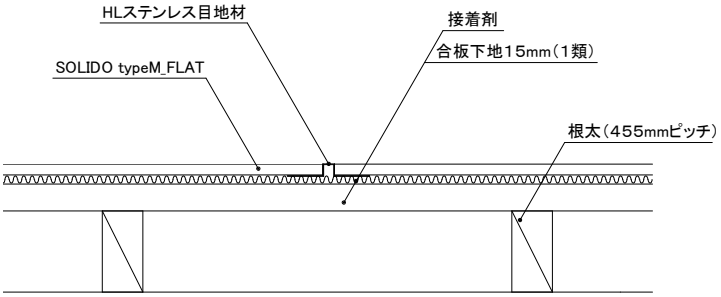
根太工法　合板下地9mm 2枚重ね



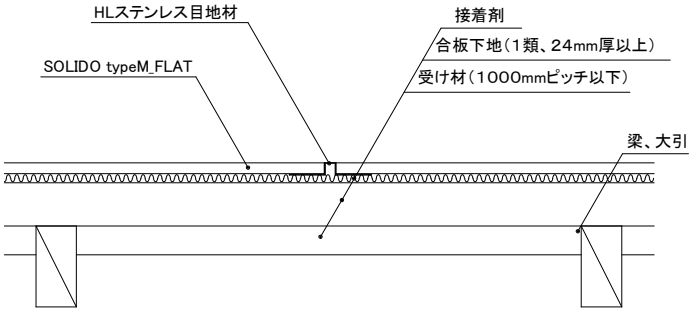
根太工法　合板下地12mm



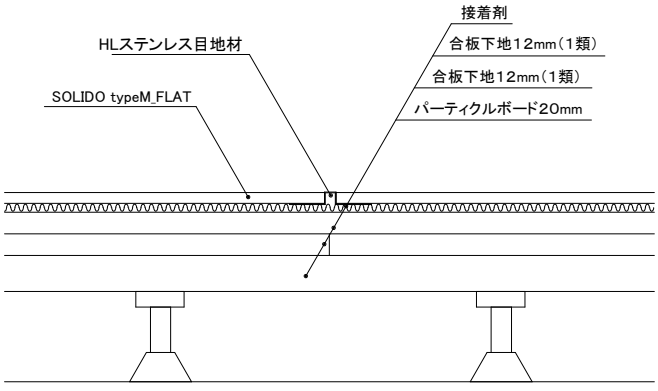
根太工法　合板下地15mm



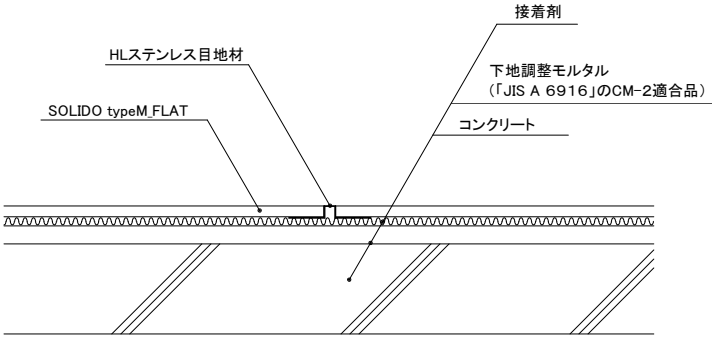
根太レス(剛床)工法　合板下地24mm



二重床工法　12mm 2枚重ね



モルタル下地



3．推奨工法

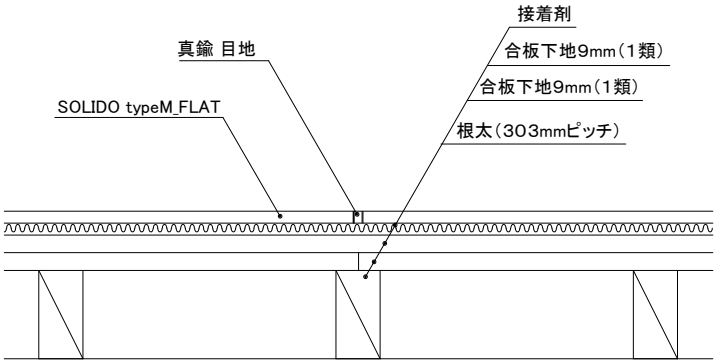
該当部位	屋内壁	屋外壁	屋内床
	×	×	○

【7】参考納まり図　ー 屋内床 ー

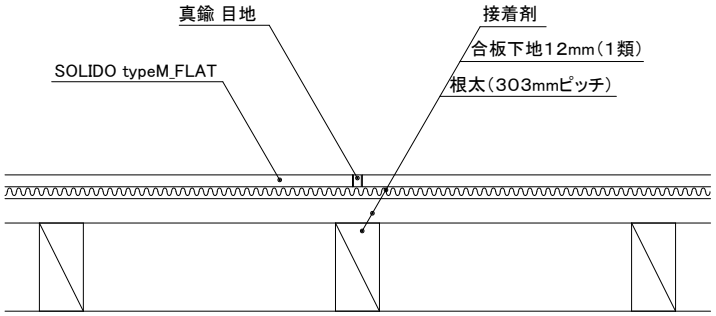
＜2＞真鍮部材の場合

※推奨接着剤を使用して留めつけてください

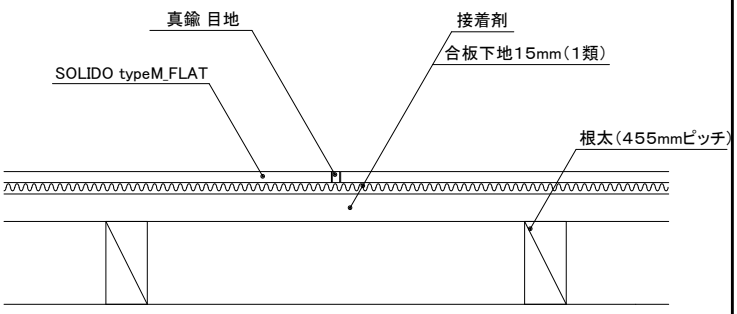
根太工法　合板下地9mm 2枚重ね



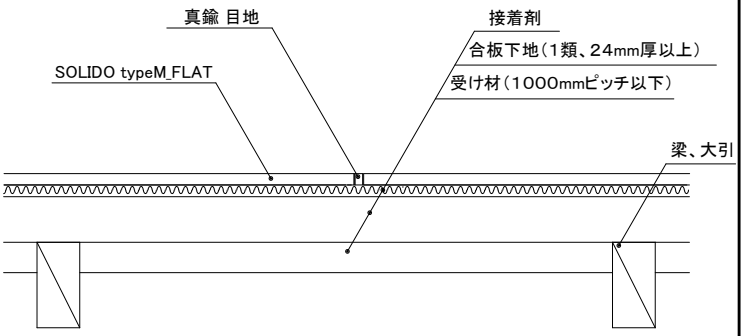
根太工法　合板下地12mm



根太工法　合板下地15mm

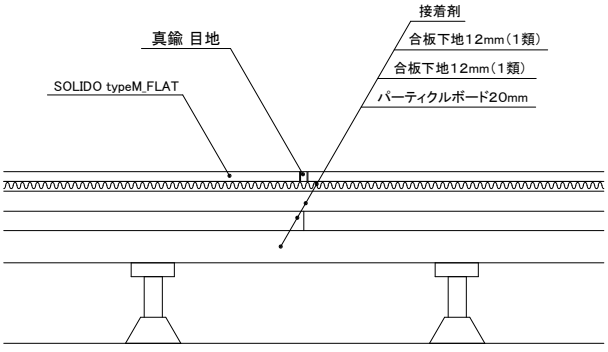
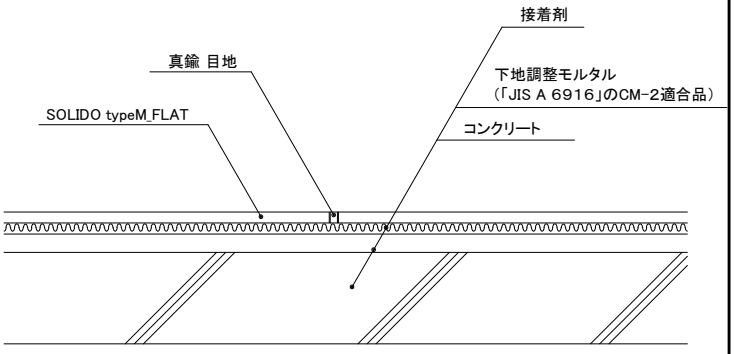


根太レス(剛床)工法　合板下地24mm



※合板下地(24mm)は実なしの場合、実ありの場合は受け材不要

二重床工法　12mm 2枚重ね



モルタル下地